

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第145号(2019. 4. 1)
事務局 川西地区自主防災会

NTT 西日本香川支店 西川 宏幸支店長に赴任後2年余りとなる
香川県の印象や防災、ICTについてお聞きしました。

かがわ自主ぼう連絡協議会 理事
宇多津町自主防災リーグ-平野 文夫

会報第98号(2015. 5. 1)ではNTT 西日本香川支店 前支店長眞塚 教夫様に、NTT 西日本の災害対策、災害に強い通信ビルや設備づくり、災害時に必要な通信の確保、災害用伝言ダイヤル、通信サービスの復旧等の設備的な面についてご紹介をいただきましたが、今回は平成最後の「防災・減災の輪」となる旨をお伝えして会社や自宅における「備蓄品」や人間味溢れるお話をさせていただきました。

1. 支店長室について

茶窯と茶道具があり、さめき漆器の置物もあり、また、書道パフォーマンス「高商ガールズ」の”つなぐ”をテーマとした大きなパネルが壁にかけられており、書の日付は(2017. 10. 23)日本電信電話記念日と記されていました。

この書は支店長が高商ガールズのパフォーマンスを見てとても感動し「この書でお客様のおもてなしをしたい」との思いから高松商業高校書道部にお願いに行き、支店長室にパネルを掛けられたとのことでした。

インタビュー前に支店長のお手前でお茶をいただきましたが、特にお茶の作法を得てはおりませんとのことでした。

赴任当時、支店長室が殺風景と感じて、ご家族の茶道具を持参してお客様の「おもてなし」をされているとのことでした。



3. 西川支店長について

(1) 略歴

1965年（昭和40年）8月14日生 和歌山県出身

1989年（平成01年）4月 日本電信電話(株)入社「平成元年」1期生

2016年（平成28年）7月 NTT西日本 香川支店 支店長

（平成最後のNTT西日本香川支店長!）

【インタビュー中断】 3月13日(水)13時48分頃

支店長室(4F)で突然の揺れを感じました。震源地は和歌山県で震度4、高松は震度3!
同席の総務担当課長が情報把握のため機微な動きで部屋を出ました。

◆平成元年入社、平成最後のNTT香川支店長、和歌山県出身、また、防災関係のインタビュー中の和歌山県を震源とする地震!
あまりにも偶然が重なり、西川支店長「何かを持たれている!」と感じました。

(2) 趣味

- ・ 食いしん坊なので料理好きとのことです。
- ・ スポーツ観戦(野球、サッカー、ラグビー等々)とのことです。

(3) 座右の銘

- ・ 「三方よし!」とのことですが、これは近江商人の基本であり
売り手よし、買い手よし、世間よしとのことです。

(4) 香川県の「人・物・街」の感想

- ・ 高松市の第一印象は、和歌山と比較して「都会」でした。
人口は和歌山県和歌山市と香川県高松市は同規模なので和歌山程度の街と想定して赴任したとのことです。
- ・ 県民性について
災害が少なく普段は「おっとり」していますが、車の運転時は「せっかち」人間に変身して車間距離は短く、方向指示器の合図も遅過ぎますとのことです。
- ・ 讃岐うどんについて
関西はうどんより出汁に重きを置き、出汁を飲み干す派です。
因みに良いなと感じたうどん屋さんは、「しんぺいうどん(瓦町)」、「手打ちうどんひさ枝(郷東町)」、「がもううどん(坂出市)」とのことです。
- ・ 香川で初めて食べたものについて
「まんばのけんちゃん」でお店の人への第一声は「何、この苦い小松菜は?」とのことでしたが、今は家族共に大ファンですが、アク取りには時間が掛かり大変ですとのことです。

(3) NTT タウンページ「防災+防犯タウンページ」別冊について

自主防災等関係者や多くの住民等の皆様から好評を得ている、2019年3月発行の「防災+防犯タウンページ」別冊については、防災、防犯に役立つコンテンツを関係機関にご協力をいただき掲載しており、NTTの電話をご利用いただいている方のみでなく、香川県内の全戸・全事業所を対象に約40万部をポスティングしたとのことです。

是非とも、保存版として活用していただきたいとのことです。



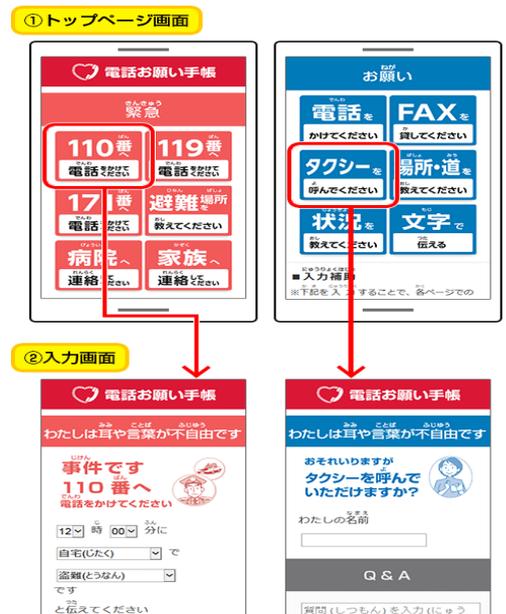
5. NTT 西日本香川支店の CSR 活動(社会貢献活動)について

- ・ CSR 活動の一環として「電話お願い手帳(2019年版)」を香川県内の各自治体や福祉団体等へ500冊を贈呈いたしました。今年度はより多くの方にこの手帳のことを知っていただくとともに県民の皆様への理解が広がると思いから贈呈式は、香川県庁で浜田知事へ贈呈いたしましたとのことです。

耳や言葉の不自由な方が外出先で電話連絡を行う際に、用件や連絡先等を書いて近くの方にご協力をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくことを目的に発行しており、昭和58年以来、今年で37年目となるとのことです。

- ・ 「電話お願い手帳アプリ版」の提供について

近年、インターネットに接続できる携帯端末(スマートフォン、タブレット等)の普及が進んでいることを踏まえ2016年12月から利用可能となり、利用者の皆様から大変好評を得ているとのことです。



6. 今、注目されている ICT (インフォメーション&コミュニケーションテクノロジー) について

(1) 香川県観光協会「香川県多言語コールセンター」

近年、増加傾向にある訪日外国人観光客との円滑なコミュニケーションや多言語表示を支援する 24 時間対応のサービスです。

・対象施設

外国人観光客の受け入れに取り組んでいる又は取り組もうとしている県内の観光関係施設。

・サービス内容

多言語による電話通訳・TV通訳・簡易翻訳サービス。

a 観光に関する通訳 (無料)

b 対応時間 24 時間 365 日対応

注：フランス語、タガログ語は 10~19 時まで

c 対応言語は英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、スペイン語
ポルトガル語、フランス語、タガログ語

(香川県観光協会 HP より)

(2) 香川県「かがわWi-Fi」

・スマートフォン、タブレットでインターネットに簡単アクセス

・観光情報を「香川県観光情報サイト“うどん県旅ネット”」から簡単入手

・もしもの災害時には、情報伝達手段として利用可能

・かがわWi-Fi スポット数 (H31.1.31 現在)

SSID:KAGAWA-WiFi 941 箇所

内訳:県設置: 30 箇所

市町設置:94 箇所

民間設置:817 箇所

(香川県うどん県旅ネット HP より)

本日は、NTT 西日本香川 西川宏幸支店長にいろいろなお話しをお聞きしましたが、今後 30 年以内の南海トラフ地震の発生する確率は 70%~80%と想定されており、香川県内では震度 6 強~震度 7 の地震が想定されています。

まずは、「自助」の精神で自分の身は自分で守るを念頭に様々な準備をしていただくことが重要かと思えます。

西川支店長の言われた食料備蓄や携帯電話・スマートフォンの充電対策、また、NTT タウンページ別冊「防災+防犯」のコンテンツを参考に準備ができるものが多々あるかと思えます。

また、香川県の交通事故死亡者数は人口 10 万人当たり全国ワースト第 4 位 (H31.2 末) と不名誉な位置が続いています。

支店長の言われた、普段は「おっとり型」から運転時は「せっかち型」への変身や運転マナーの悪さにも意識して姿勢を正さなければと思えます。

今後とも、NTT 西日本香川支店が情報通信設備、ICTの牽引役としてますます頑張ってくださいことを想うとともに、年度末の大変お忙しい中、インタビューに応じていただいた西川支店長へ感謝の気持ちを表したいと思えます。

離任のご挨拶

元 香川県危機管理総局危機管理課 政策主幹（兼）副課長 石原 芳浩

このたびの人事異動により、議会事務局総務課で勤務することになりました。平成29年4月1日付けで危機管理課に配属となって、2年弱の短い期間ではありましたが、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様の活動に接することで、「共助」の要となる自主防災組織が担う役割の重要性を認識することができました。県においても、自主防災活動アドバイザーの派遣や自主防災組織のリーダー研修会の開催など、自主防災組織等に対する支援を行い、県内の自主防災活動が活性化を促し、地域防災力が向上するよう努めているところです。

私は2年弱という短い期間で危機管理課を転出することとなりましたが、「防災・減災」に終わりはありません。かがわ自主ぼう連絡協議会の皆さまには、今後とも、本県の防災行政に対して、より一層の御支援と御協力をお願いいたします。

最後に、皆様のこれまでの御尽力と本県の防災行政への御協力に深く感謝を申し上げますとともに、協議会の今後益々の御発展と皆様方の御健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げます。

元 香川県危機管理総局危機管理課 主任主事 藤沢 陽大

この度、4年間の危機管理課勤務を終え、異動することとなりました。

この4年間では、「防災・減災の輪」の100号記念という節目や、防災功労者内閣総理大臣表彰をはじめとした様々な表彰の機会など、多くの珍しい経験をさせていただきました。

また、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方には、フォローアップ事業やリーダー研修会、総合防災訓練、アドバイザー事業など多くの事業へ御支援をいただきました。至らないところも多々あったと存じますが、いつも快く御協力いただき、大変頼りにさせていただきました。特に、寒い冬の日に実施することとなった防災訓練でいただいた温かい豚汁の炊き出しは、記憶に残っています。

最後になりましたが、協議会のますますの御発展と、皆様の御活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

地域防災の盟友を失う

3月27日（水）12時36分、私（岩崎）の携帯にコールが入りました。小さめの声で「田尾」さんが亡くなったこと知っているか…。田尾さんと伺って、すぐに詫間町松崎連合防災会会長とは思いつくことなく、NTTOBの人かなと思いきや、フルネームで田尾雄彦さんですよと言われ、まさかと思いつつ…24日（日）に徳島県の山に登り頂上で息絶えたと言われ、亡くなったことが現実化しました。田尾さんとの出会いは7年程前になります。当時の三豊市立松崎小学校の校長先生から紹介を受け、共に地域防災力向上に連携を図りつつ頑張ってきました。11月に実施しています福祉施設対象のプラスワン訓練も非常に熱心で、対象施設も増やすし、中身もしっかりとしたものでした。更に昨年夏の西日本豪雨被災地の岡山県真備町へも4日間の支援活動、猛暑の中、頑張っていたいただきました。3月27日（水）18:00からの通夜式に出席。又ひとり防災の盟友を失うことになりました。今はとても淋しい気持ちでいっぱいです。ご冥福をお祈りします。合掌



編集後記

今月の防災・減災の輪は、かがわ自主ぼう連絡協議会理事 平野文夫様と NTT西日本香川支店 支店長 西川宏幸様にご協力いただきました。ありがとうございました。